

教育資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数							非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数			
リハビリテーション学部 理学療法学科	6人	3人	5人	5人	19人	8人	17人	121人	13.42人	
計	6人	3人	5人	5人	19人	8人	17人	121人	13.42人	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
基礎	科学的思考の基礎	基礎ゼミ	8	佐藤春彦 他	(専任) / (兼任)
		物理	15	楠本邦子	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	統計学	15	北脇知己 他	(兼任)
		情報処理技術	8	北脇知己 他	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	研究方法論	8	浅井剛	(専任) / (兼任)
		生物	15	島田幸祐	(兼任)
基礎	科学的思考の基礎	化学	15	牧田佳真	(兼任)
		認知科学	8	吉村匡史	(兼任)
基礎	人間と生活	心理学	15	西垣悦代 他	(兼任)
		倫理学	15	岡田悠汰	(兼任)
基礎	人間と生活	健康科学	15	木村稜 他	(兼任)
		教育学	15	朝日素明	(兼任)
基礎	人間と生活	医療経済学	-	-	-
		哲学	15	小田麟太郎	(兼任)
基礎	人間と生活	社会学	15	野々村元希	(兼任)
		-	-	-	-
基礎	社会の理解	基礎英語	15	小坂裕美	(兼任)
		コミュニケーション論	8	長岡千賀	(兼任)
基礎	社会の理解	医学英語	15	小坂裕美	(兼任)
		グローバルコミュニケーション	15	Amanda O'Brien 他	(兼任)
基礎	社会の理解	中国語	15	劉秋燕	(兼任)
		韓国語	15	李鎮榮	(兼任)
基礎	社会の理解	フランス語	15	MoulinBerengere	(兼任)
		-	-	-	-

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	15	長谷公隆 他	(専任) / (兼任)
		解剖学Ⅱ	15	飯田寛和 他	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学Ⅰ	15	前澤仁志 他	(専任) / (兼任)
		生理学Ⅱ	15	前澤仁志 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学実習	30	前澤仁志 他	(専任) / (兼任)
		運動学Ⅰ	15	市橋則明 他	(専任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	15	佐藤春彦 他	(専任)
		運動学実習	15	佐藤春彦 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人間発達学	15	加藤寿宏	(兼任)
		臨床心理学	8	吉村匡史	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	8	薦幸治 他	(兼任)
		画像診断解析学	-	-	-
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	15	伊藤量基 他	(兼任)
		内科学Ⅱ	15	竹花一哉 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅰ	15	飯田寛和 他	(専任) / (兼任)
		整形外科学Ⅱ	15	齋藤貴徳 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床神経学Ⅰ	15	中村正孝 他	(兼任)
		臨床神経学Ⅱ	15	武田純一 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	15	赤川翔平 他	(専任) / (兼任)
		精神医学	15	吉村匡史	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	15	神田靖士 他	(兼任)
		老年医学	8	吉村匡史	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床薬学	8	吉村匡史 他	(兼任)
		救急医学	8	欽方安行 他	(兼任)
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床栄養学	8	藤本さおり	(兼任)
		先端リハビリテーション医学	8	長谷公隆 他	(兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	8	池添冬芽 他	(専任) / (兼任)
		医療専門職総論	15	中野治郎 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	8	長谷公隆 他	(兼任)
		がんリハビリテーション学	8	三木恵美 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	チーム医療演習	8	中野治郎 他	(専任) / (兼任)
		国際リハビリテーション学	8	種村留美 他	(専任) / (兼任)
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	国際保健	8	種村留美 他	(専任) / (兼任)
		医療福祉連携論	8	池添冬芽 他	(専任) / (兼任)
専門	基礎理学療法学	理学療法概論	8	池添冬芽	(専任)
		理学療法研究論	8	前澤仁志 他	(専任)
専門	基礎理学療法学	先端研究特論	-	-	-
		先端研究演習	-	-	-
専門	基礎理学療法学	キャリアテラシー特論	-	-	-
		先端研究演習Ⅰ	15	八木優英 他	(専任)
専門	基礎理学療法学	先端研究演習Ⅱ	15	八木優英 他	(専任)
		理学療法総合演習	30	野村卓生 他	(専任)
専門	基礎理学療法学	卒業研究(理学)	15	野村卓生 他	(専任)
		作業療法概論	15	三木恵美 他	(兼任)
専門	基礎理学療法学	スポーツと作業療法	8	酒井浩	(兼任)
		緩和ケアにおけるリハビリテーション	8	吉村匡史	(兼任)
専門	理学療法管理学	理学療法管理学	15	野村卓生 他	(専任) / (兼任)
		-	-	-	-
専門	理学療法評価学	理学療法評価学	15	中野治郎 他	(専任)
		理学療法評価学演習Ⅰ	30	森公彦 他	(専任)
専門	理学療法評価学	理学療法評価学演習Ⅱ	15	野村卓生 他	(専任)
		理学療法評価学演習Ⅲ	-	-	-
専門	理学療法評価学	画像評価学演習(理学)	15	佐藤春彦 他	(専任) / (兼任)
		身体機能解析学演習	30	福元喜啓 他	(専任)
専門	理学療法治療学	運動療法学	15	市橋則明 他	(専任)
		物理療法学	8	中野治郎	(専任)
専門	理学療法治療学	物理療法学演習	15	中野治郎 他	(専任)
		日常生活活動学	6	松島佳苗 他	(専任) / (兼任)

分野(基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
専門	理学療法治療学	日常生活活動学演習(理学)	15	池添冬芽 他	(専任)
		運動器理学療法学	15	福元喜啓 他	(専任)
専門	理学療法治療学	運動器理学療法学演習	15	福元喜啓 他	(専任)
		神経理学療法学	23	脇田正徳 他	(専任)
専門	理学療法治療学	神経理学療法学演習	15	森公彦 他	(専任) / (兼任)
		呼吸循環代謝理学療法学	15	西中川剛 他	(専任)
専門	理学療法治療学	呼吸循環代謝理学療法学演習	15	野村卓生 他	(専任)
		義肢装具学	8	浅井剛 他	(専任) / (兼任)
専門	理学療法治療学	義肢装具学演習(理学)	15	浅井剛 他	(専任)
		小児理学療法学	15	佐藤春彦 他	(専任) / (兼任)
専門	理学療法治療学	リハビリテーション工学	8	浅井剛 他	(専任) / (兼任)
		リハビリテーション工学演習	15	浅井剛 他	(専任) / (兼任)
専門	理学療法治療学	スポーツリハビリテーション学	8	飯田寛和 他	(専任) / (兼任)
		疼痛リハビリテーション学	-	-	-
専門	理学療法治療学	理学療法特論	8	野村卓生 他	(専任) / (兼任)
		小児理学療法学演習	-	-	-
専門	理学療法治療学	アシスティブテクノロジー学	8	種村留美 他	(兼任)
		認知症に対する作業療法	8	種村留美 他	(兼任)
専門	理学療法治療学	神経発達症と作業療法	8	加藤寿宏	(兼任)
		-	-	-	-
専門	地域理学療法学	地域理学療法学	8	池添冬芽	(専任)
		高齢者理学療法学	15	浅井剛 他	(専任)
専門	地域理学療法学	地域リハビリテーション特論	-	-	-
		先端住環境支援論	-	-	-
専門	地域理学療法学	地域理学療法学演習	15	池添冬芽 他	(専任)
		-	-	-	-
専門	臨床実習	臨床見学実習(理学)	-	森公彦 他	(専任)
		臨床評価実習(理学)	-	福元喜啓 他	(専任)
専門	臨床実習	臨床地域リハビリテーション実習	-	浅井剛 他	(専任)
		総合臨床実習Ⅰ(理学)	-	野村卓生 他	(専任)
専門	臨床実習	総合臨床実習Ⅱ(理学)	-	野村卓生 他	(専任)
		-	-	-	-

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
医療機関（関連病院）でのリハビリテーションの見学	1年（通年）	リハビリテーション概論	1年前期
		理学療法概論	1年前期
		基礎ゼミ	1年前期
医療機関（関連病院）での理学療法評価の実践	3年（後期）	理学療法評価学	2年前期
		理学療法評価学演習Ⅰ	2年後期
		理学療法評価学演習Ⅱ	3年前期
医療提供施設での地域理学療法の見学	3年（後期）	医療福祉連携論	3年前期
		地域理学療法学	3年前期
		高齢者理学療法学	3年前期
医療提供施設での理学療法の実践	3年（後期）	運動療法学	2年前期
		日常生活活動学・演習	2年後期
		運動器理学療法学・演習	2年後期
		神経理学療法学・演習	3年前期
		呼吸循環代謝理学療法学・演習	2年後期
		義肢装具学・演習	3年前期
		義肢装具学・演習	3年前期
医療提供施設での理学療法の実践	4年（前期）	運動療法学	2年前期
		日常生活活動学・演習	2年前期
		運動器理学療法学・演習	2年後期
		神経理学療法学・演習	3年前期
		呼吸循環代謝理学療法学・演習	2年後期
		呼吸循環代謝理学療法学・演習	3年前期
		義肢装具学・演習	2年後期

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検評価委員会（リハビリテーション学部自己点検評価委員会、自己点検評価委員会全学委員会）	
委員名（委員長）	市橋則明（リハビリテーション学部自己点検評価委員会委員長、自己点検評価委員会全学委員会委員）	
組織の開催頻度	1年に3～4回	
組織の取り組み内容	本学独自の内部質保証推進組織によって下記の自己点検・評価とともに改善に努め、恒常的・継続的に教育・研究の質の保証及び向上に取り組んでいる。	
	・教育水準の向上に向けた活動	
	・教員の研究水準向上に向けた活動	
	・管理運営改善に向けた活動	
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： <a href="https://www.kmu.ac.jp/faculty/for/index.html">https://www.kmu.ac.jp/faculty/for/index.html</a> ）	

【自己評価 4-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教務委員会
	委員構成等	教務部長（委員長）、教務副委員長、各学科選出委員、事務部学務課
	改善の仕組みの実際	教務委員会（毎月開催）において、3つのポリシーと科目配置等を審議し、科目配置や科目の内容が適切であるかを確認の上、シラバス内容を検討している。

【自己評価 4-3】 自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください

<p>本学における自己点検評価委員会は委員会自らが進める独自自己点検・評価だけでなく、教育研究推進委員会が進める内部質保証活動についての二次評価も行うという内部質保証推進システムが構築されており、PDCAサイクルを適切に機能させることによって質の向上をはかっている。</p>
---